

新宮山彦ぐるーぷ第2092回

前鬼・小仲坊の水源修理

◇実施日…2020年8月16日(日)晴

◇参加者…山川治雄・自知、梶野照雄、志岐敬、山本直子

5名

3月に小池宿跡に行った際、導水ホースにボールが置かれたままになっていた。小仲坊で五鬼助さんに聞くと、水が来なくなつたので修理しようとしたが、一年位そのままになっている、とのことだった。既にホースは敷設されているので、止まっている箇所を修理するのは簡単だと思い、山川さんに声をかけて修理に向かった。



ゲート前は車がいっぱい



標識を設置



ちょうど志岐さんと山本さんが天川から縦走して15日に小仲坊に泊まるというのでお手伝いをお願いした。

林道ゲート前には沢登りに向かった車が多数停まっている。8時50分に山川車が到着、小仲坊に向かう。

チェンソー一台をお借りして水源に向かった。我々5名の他、五鬼助さんご夫妻と、宿泊されていた成田さんも同行された。

最初の沢を渡った所と水源から小池宿跡に登りだす所に標識を設置した。志岐さんをお願いしてアセビの枝を整理しながら進んだ。水源に到着、ホースが外れている箇所を山川さんが繋ぐ。少し長いのでノコで切って接続した。



ホースを繋ぐ

貯水槽の清掃

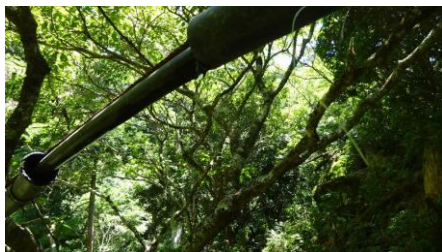
倒木の隙間を確保

貯水槽はドラム缶で、あちこち腐食している。パイプの接続箇所に水漏れが見られた。排水のドレンを開けて貯水槽を掃除する。奥さんが流入側のホースを外して泥を流してください。

貯水槽傍のホース接続は完了、少し下流の倒木を切つてホースとの

隙間を確保した。

50 m程先にバルブがあり、ここもホースが外れていた。ホースを差し込んでナットを回すがホースが固定できない。五鬼助さんがホースの固定方法を教えて下さり、3人掛かりで両側のナットを締めて接続完了した。排水側のバルブを開けると勢いよく水が噴き出るようになった。これで上部は修理完了、ホース沿いの雑木を切つて小仲坊に戻った。



バルブの接続

沢越えの導水管

さて、水は来ているのか？確認してもらおうと水が出ていない。吐出側のバルブが完全に開いていないのではないかと、言うことで奥さんが確認に行かれた。その間に山川、梶野の2名で下からホースをたどる。

沢を越えて少し登った所でホースから水音が聞こえだした。同時に隙間から水が流れ落ちました。沢を越える部分はワイヤーロープに吊るされて空中を通過しているが、太いホースの中を少し細

い導水ホースが通っている。太いホースは保護材のようだ。この太いホースが途切れた部分から水が流れ落ちています。この場所より上で漏水があるようだ。水が流れ出したので小仲坊に戻った。ホース先端では山本さん達がタンクを横にして洗っていた。



ミツマタを刈り取る

河原で焼肉

本日の参加者

へッジトリマーを持って三重の滝に行く道のミツマタを刈る。先日少し切ったが、その時に上から落ちてきたヒルに首筋をヤラレタので、今回は頭上の枝を全て切り落とした。

前日に山川さんから電話があり「河原で焼肉をするので、昼食不要」と連絡があった。12時少し前、五鬼助さんに挨拶して小仲坊を後にした。ゲートを過ぎてトンネルの手前から前鬼川に降りた。河原までは30 m程で、そんなに離れてはいない。

山川さんは肉や網、木炭やビールなどを全て準備してくださった。1時間半ほど滞在してそれぞれ帰路に就いた。

帰宅して午後9時前に五鬼助さんから電話があり、水が来るよう

になつて大変喜んでゐる、と非常に感謝された。水は時々しゃつくりしたように止まることがあり、途中で空気が入り込んでいるようだ。沢越えの上で流れ出している水漏れの原因を突き止めて、導水管を完全に修理する必要がある。

(記；梶野)

行動タイム

林道ゲート 08：50→09：00 小仲坊 09：20→09：40 水源→11：10
小仲坊 11：50→12：10 前鬼川河原 13：30